

ほんのいっぷく

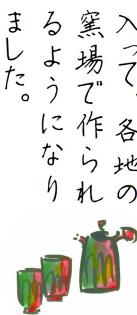
網代園のお茶 ドイツに渡る?!



肥沼信次博士をご存じですか。

戦前、現在
の中野公園
あたりにあつた肥沼医院
の「子息」で、
ドイツ・ベル

リン大学に留学後、ドイツで研究者として活躍していました。敗戦後のドイツにあえて残り、ブリュッセル市で医師として働きます。当時は発疹チフスが流行し、人々を苦しめいました。博士はその治療に心血をそそぎ



急須の話 〈六〉

抹茶にしても、煎茶にしても、お茶を楽しむというのは、ごく一部の上流階級の人々に限られていきました。茶を飲むと

入って、各地の窯場で作られるようになりました。

京焼、九谷焼、有田焼など各地で独自の茶器の製造が盛んになります。中国の朱泥や紫泥に影響を受けて、日本の急須の二大生産地になつたのが、三重県四日市市の萬古焼と愛知県常滑市の常滑焼です。

裏切りの日

思議な気持ちですが、植樹祭のご成功と、参加される皆様の旅のご無事を祈念しています。



庭のあじさいが咲き始めました。今年の5月は、朝晩の寒暖差がとても激しく、真夏日かと思えば、3月の気温なんて日もありましたね。皆様お変わりございませんか。疲れが溜まりやすいと存じます。くれぐれもご自愛くださいますように。

ましたが、残念なことにチフスでお亡くなりになりました。ドイツでは名誉市民としてたたえられ、記念の公園までできています

に、出身地の八王子ではほとんど知られています。博士はその治療に心血をそそぎ

6月2日だったことに由来して名づけられたそうです。いろいろな語呂合わせの記念日と違って、忘れられない記念日になります。

発行元
網代園
八王子市
横山町10-14
042(643)0333
日本茶インストラクター
茶育指導士
網代邦子

5月の店休日
6, 13, 20, 27日
(毎週土曜日)
営業時間
9:30~19:00
(日, 祝
9:30~18:00)



Facebook



Instagram



編集後記